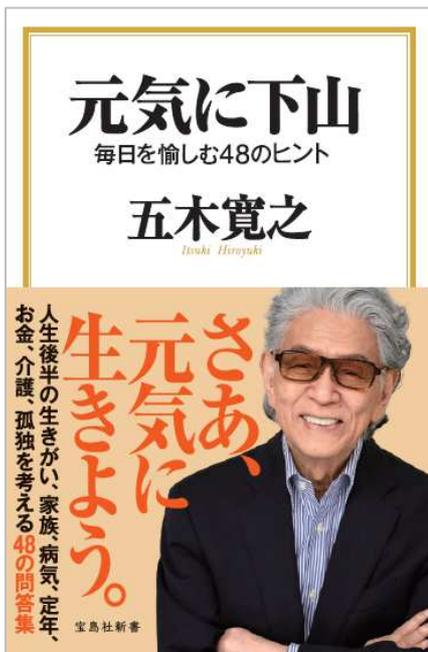


人生の醍醐味は、50歳からの下山にあり！

五木寛之氏 48の人生相談・老後相談に回答

100年時代を愉しく生きる知恵『元気に下山』4/10発売

株式会社宝島社(代表取締役社長:蓮見清一 本社:東京都千代田区)は、2019年4月10日(水)に、五木寛之氏の最新刊『元気に下山 毎日を愉しむ48のヒント』を発売します。



作家・五木寛之氏は、人生を山登りに例え、人生100年時代において前半生の50年間でピークに達し、残りの50年間でゆっくりと下山していくとし、下山にこそ自分の人生をより豊かで幸福なものにするための本質があると言います。

本書は「いま、いかに下山するか」を、五木氏が読者から寄せられた“48の問い”に答える形式で語る問答集です。元気に生き続ける秘訣を知りたい、貯蓄はいくら必要か、移民問題、AIなどのテクノロジーとどう付き合っていけばよいか、死後の世界についてなど。後半生を元気に生きるためのヒントを収録しています。

これまでの処世訓や人生観は「人生50年」を想定して語られており、突然やってきた「人生100年」を生き抜くための地図や羅針盤はまだありません。「自分で自分の生き方を探さなければ」と語る五木氏が、40代以降の読者に贈る貴重な言葉と知恵が詰まった一冊となっています。

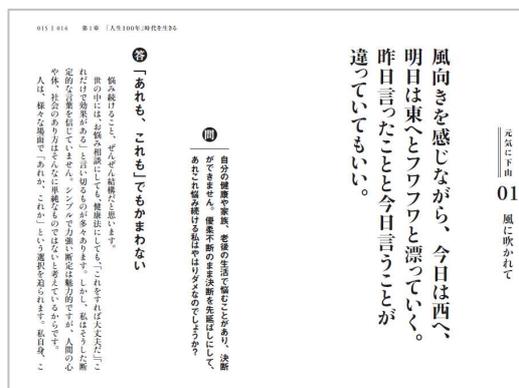
『元気に下山 毎日を愉しむ48のヒント』著:五木寛之
2019年4月10日発売/定価:本体740円+税

「人生100年」という未曾有の時代
自分で考え、自分で行動を選び取る、
激変の時代を生き抜くための48の貴重な知恵

- 第1章 「人生100年」時代を生きる
- 第2章 人生後半の問題
- 第3章 晩年期の家族
- 第4章 新時代の日本社会
- 第5章 生きること、死ぬこと

取材・インタビュー
ご相談ください

- ▼老年期における「格好よさ」とは？
- ▼元気でい続ける秘訣を教えてください
- ▼定年後、価値観の合わない妻と過ごしたくない…
新しいパートナーを探すべき？
- ▼老後にやりたいことがいっぱい…財産は残すべき？



大事なことは、与えられた命を
しっかりと生き切ることなのです。
(p102「始原のエネルギー」より)

一般の方からの問いかけに真摯に向き合い、あらかじめ決まった定型句で応じるのではなく、慎重に言葉を選び、その都度考えながら応答する五木先生の姿に感銘を受けました。誰も経験したことのない未曾有の時代だからこそ、「自分で考える」ことの大切さを教えてくれる1冊です！

第1書籍局 第2編集部
編集長 田村真義

五木寛之(いつき ひろゆき): 1932(昭和7)年福岡県生まれ。作家。早稲田大学露文科中退後、編集者などを経て『蒼ざめた馬を見よ』で直木賞、『青春の門 筑豊篇』他で吉川英治文学賞を受賞。『風に吹かれて』『大河の一滴』『他力』『人間の覚悟』『親鸞』『孤独のすすめ』『マサカの時代』など著書多数。